

「全員参加型社会」をめざして

「少子化」「高齢化」、つまり「生産年齢人口の減少」が進行しています。その社会の根幹を揺るがす現象の背景には「核家族化」があります。この課題を克服するには、役所による「団体自治」から、地域住民による「住民自治」へと、舵を切ることだと考えております。

未だ経験したことのない社会を、私たち一人ひとりが主役となり、地域のまちづくり、地域の運営に携わっていくことこそ「持続可能な社会」を創り上げていくのではないのでしょうか。その先にあるのは、一人ひとりの尊厳を大切にする社会の実現、そして「寝屋川市のふるさと化」です。

昨日より今日 「幸せ」を実感できる社会づくり
今日より明日 「夢」と「希望」を持てる社会づくり
それが政治の仕事だと思ふ

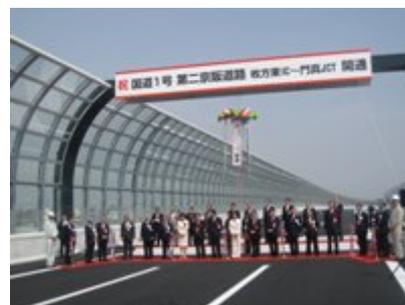
4年間の足跡

「現場主義」をモットーに議会活動を行ってまいりました。市民の方々の声を参考に、市全体の政策として様々な角度で提言してきた質問項目をご紹介します。

(一般質問、各委員会での質問の一部を掲載しております)

1. 街と人の元気を育むまちづくり

- 「核家族」から「拡家族」へ
 - ・多世代家族が、近居・同居できる政策の導入
- 商業振興
 - ・商業活性化の工夫
 - ・商店街の地域外の商店への支援
- 農業振興
 - ・農地（遊休地・不耕作地）の有効利用
 - ・都市農業の今後の危機感と展望
 - ・「儲かる農業」への取り組み



第2京阪道路の開通式に参加。
道路行政が大きく変わる。

- 地域通貨の活用推進
- 街の姿
 - ・用途地域での準工業地域の考え方
 - ・京阪本線連続立体交差事業の進捗状況
 - ・景観行政の促進
 - ・寝屋南土地区画整理事業（街のブランド化）
 - ・香里園駅東再開発（大学との連携）
 - ・無電柱化
- 東寝屋川駅前線への取り組み
- 法定外公共物について
- 河川の清流化
- 建築物解体時のルール化
- 公共施設建設に係る用地買収での移転者へのフォロー
- 教育力の向上
 - ・教育研修センター機能の有効利用
 - ・学校教員組織力向上の取り組み
 - ・学校と地域との連携向上
 - ・「小1プロブレム」の解消
 - ・保育所、幼稚園、小学校での連携
 - ・環境教育の充実
- 校庭の芝生化
- 文化振興
 - ・文化振興基金の設置について
 - ・文化ホール全般



再開発地域に利用できないかと、
地下駐輪場を勉強に。

2. 信頼される市役所体制

- 満足度調査、ニーズ調査の重要性
- ワンストップサービスの拡大
- 計画的な財政運営（各種基金について）
- 財源の確保
 - ・悪質滞納者への徴収体制
 - ・税と料の一体徴収について
- 無税国家構想・自治体版について
- 少数精鋭の組織のあり方
 - ・行政評価システムと市民満足度の連動
 - ・市民満足度と人事評価の連動
 - ・政策担当者の各部への配置と人材研修
 - ・組織力重視の人事評価制度への改善
 - ・プロフェッショナルの育成
 - ・職種変更について
 - ・市役所アルバイトなどの待遇改善
 - ・プロジェクト担当理事の設置
 - ・管理職の人材育成
- 行政内改革
 - ・決算委員会の予算への反映について
 - ・公有施設での空きスペースの有効利用
 - ・公文書の管理の改善



ICT教育が大きく前進し、
その内容を実際に経験。



知恵と努力で実現した
「ワンストップサービス」の
先進市に学ぶ。

- ・事業仕分けの導入
 - ・共通した新制度を情報提供する場合は他市連携
 - ・大阪版地方分権推進制度による事務委譲での本市の主体性
- トップセールス
 - シティセールス
 - 品質を考えた契約のあり方
 - 大型プロジェクトでの市内企業参画状況の把握
 - 産学官連携対象校の拡大
 - 動画配信

寝屋川市 年表32

- 昭和20年 北国民学校に食糧や兵器を搬入
西国民学校の教室が、大阪陸軍被服廠倉庫等に転用
授業は、寺院、集会所を借用し、分教場での学習を開始
食糧増産のため、北運動場はさつまいも畑にする
寝屋川決戦工業団発足
寝屋川町一帯空襲を受け、木屋揚水機場が破壊される
米軍の機銃掃射で寝屋川町に被害
西・北国民学校、分教場から学校に復帰。二部制で授業
- 昭和21年 豊野保育所設置
- 昭和22年 東西南北地区の農業委員会発足
各国民学校を小学校と改称
昭和天皇、木屋揚水機場を視察
大阪女子医大（現関西医大）香里病院設立
町消防団設置
交通安全協会発足
東西南北4地区の農業協同組合設立



BACK